令和６年度 小山市立小山中学校　第2号　令和6年5月21日発行

学校だより

小山中学校長 林　剛

学校ＨＰ

〈教育目標〉
【自主】【健康】【奉仕】

志高く 夢叶える 小山中 ～「本気･元気･根気 そして思いやり」で挑戦を続ける学校づくり～

５月８日、新型コロナが5類へ移行となり、１年が経ちました。小山中プライドの日常が戻り、「挨拶の声が大きくなりましたね。」と地域の方から声をかけられるようになりました。授業での集中力、生徒集会や生徒総会、小山市いじめゼロサミット等での、堂々と端的に自分の思いを語る表現力など、日々、小中生の成長を実感しています。部活動でも、小山支部大会での団体競技の3つの優勝など、早速成果をあげ、小中生の“文武両道”は今年も健在です。

今号では、始業１か月後の活気溢れる学校の様子を紹介します。本校職員のみならず小山中学校区一丸となり、高みを目指し続ける児童生徒の学びの伴走者として、小山中学校区の児童生徒の「主体的・対話的で深い」学びを日々実現できるよう尽力してまいりますので、保護者、地域の皆様、よろしくお願いします。

小中の明日を創る「リーダーシップとフォロワーシップ」
～　１学期学級委員、専門委員長が任命されました　～

第１学期学級委員と今年度の専門委員長を任命しました。リーダーの学級経営への参画と委員会活動の活性化に向けたリーダーシップの発揮、各クラス各委員会のメンバーのフォロワーシップを期待しています。

第１学期学級委員

	第１学年	第２学年	第３学年
１組	●●●●	●●●●	●●●●
	●●●●	●●●●	●●●●
２組	●●●●	●●●●	●●●●
	●●●●	●●●●	●●●●
３組	●●●●	●●●●	●●●●
	●●●●	●●●●	●●●●
４組	●●●●	●●●●	●●●●
	●●●●	●●●●	●●●●
５組	●●●●		●●●●
	●●●●		●●●●

専門委員会委員長

委員会	委員長	委員会	委員長
中央	●●●●	JRC	●●●●
生活	●●●●	視聴覚	●●●●
学習	●●●●	体育	●●●●
図書	●●●●	交通	●●●●
保健	●●●●	美化	●●●●
給食	●●●●	広報	●●●●

「つなぐ」「そろえる」「つどう」
～小山中学校ブロックの小中一貫教育（小山中学校区共同掲載）～

小山市では、各中学校区で小中一貫教育を進めており、小山中ブロックは、小山中、小山第一小、小山城北小、若木小の４校で、「**自らを高めようとする児童生徒の育成**」をテーマに掲げ、子どもたちの「**学びや育ちをつなぎ、指導をそろえる**」取組を行っています。

その一環として、５月８日には、４校の教職員が本校に集まり、本校の授業の様子を参観しました。

授業参観後は、各校の教職員が「心づくり部会」、「頭づくり部会」「体づくり部会」に分かれ、小山中学校区の児童生徒の「よいところ」や、「これから伸ばしていきたいところ」を共有し、４校で共通して実践する内容を話し合いました。

○頭づくり:表現力を高めるための「書く」活動の充実
○心づくり:「進んであいさつをしよう」等の「生活基盤10か条」の実践
○体づくり:投力や持久力を高める運動の充実

各校での取組の他に、合同で行う活動もあります。中学生が出身小学校へ出向き、朝のあいさつ運動（ハロープロジェクト）を行ったり、小学生と一緒に清掃活動（小中合同ピカピカ大作戦）をしたりする予定です。

本学区の子どもたち一人一人が自らを高めることができるよう、同じ中学校区の教職員が共に、「義務教育９年間の子どもの学びや育ち」に関わってまいります。

© 2024- Oyama Junior High School

5/14　小山市いじめゼロ子どもサミット
～　多様性を理解し合い、誰もが自分らしく生活できる学校　～

「いじめゼロ子どもサミット」に市内の児童生徒の代表が参加しました。「多様性」などのテーマについて話し合い、本校から参加した●●さんは、学区小学生の意見をタブレットＰＣで上手にまとめ上げました。そして最後に、実行副委員長を務める本校の●●さんから「今回のサミットを通して、自分らしさというのは自分がいたい自分のまま、自分が誇れる自分のままでいられること、そして大人より近い距離にいる私たちだからこそ気付き、できることがあることに気付くことができました。本日の学びを持ち帰り、綺麗事ではなく本当にいたい自分でいられる学校にしていきましょう。」と思いを語り、サミットを締めくくりました。この日話し合った内容は、各学校に持ち帰って共有し、いじめの防止や早期発見などにつなげていきます。

小山中学校区では、次のとおり目標を決めました。

- **みんな違ってみんないい、自分らしさを認め合おう**
- **違いをそれぞれ認め合い、仲良くなれる第１歩を**
- **違いを認め合い自分らしさを表現しよう**

5/15　第１回学校運営協議会
～　地域と共にある学校づくり、小中を支える皆様に感謝　～

小山市教育委員会池澤　満先生をお招きし、第一回目の協議会を開催しました。私からの学校経営方針の説明に続き、「本気・根気・元気、思いやりで参画する経営方針」についてご承認いただきました。また、実際に各学級の授業の様子をご参観いただきました。生徒指導主事から生徒の様子や校則見直し委員会の説明があり、委員の皆様から次のようなご意見ご感想をいただきました。

「出席状況に安心しました。仲のよさが見てよく分かりました。」
「教師の熱心さ、学力の高さ、授業の雰囲気のよさを実感。」
「生徒と教師の目が輝いていた。」「教師の数が増えるといい。」
「校則見直しはいい機会だが、守るべきことは守ってほしい。」
「学校運営にどんどん子どもの意見も取り入れるといい。」
「現場の声が聞けてよかった。夜遅くまでの対応に感謝します。」

いただいた貴重なご意見を今後の学校運営に生かしてまいります。

令和6年度学校運営協議会委員
塚原義朗 様　峯岸寿江 様　大手貴 様　小野口泰雄 様
菅野浩章 様　山下真弓 様　学校長林 剛
学校支援地域協働本部 石川順子 様
コーディネーター PTA会長 青木貴之様

5/17　笑顔で高みを目指すための「生徒総会」
～　個々のレベルアップと集団のレベルアップ「昇華（笑華）」　～

体育館に全校生徒が集い、生徒総会が行われました。議事に先立ち、生徒会長●●●●さんから、「生徒総会は学校をよりよくするために行うもので、生活をよくする新たな視点に期待したい。会の主役は小中生一人一人、行動に移すことでよりよい学校にしましょう。」と話がありました。議事では、「笑顔で高みを目指し笑顔の華が咲き溢れる景色目指す」というスローガンに込めた思いが語られ、コロナ禍を乗り越えた今年度に相応しい生徒会スローガン「昇華（笑華）」が示されました。その他の議案も承認され、私からは「**強く、すくすくと真っ直ぐに高みを目指して育ち、いざというときには大きな力を発揮する、**１本１本の竹のように生徒の皆さんに育ってほしいという、先人達の願いが込められている。**“むら竹”**とは皆さんの心が一つに集結する**“生徒会”**を意味するもの。１本１本の竹に例えられる皆さん**一人一人が“本気・元気・根気”**と仲間への**“思いやり”**をベースに、**“むら竹”**という集団で“昇華”を目指し、小山中が日本一の学校になっていくことを心から期待します。」と述べました。

令和６年度生徒会役員	
会長	●●●●
副会長	●●●● ●●●● ●●●●
会計	●●●● ●●●● ●●●●
書記	●●●● ●●●● ●●●●

〈褒章の記録〉小山支部大会での活躍(4/28～5/12)

野球 小山中・小山第三中※　優勝	
サッカー　優勝	
ソフトテニス　男子　団体　第３位	
女子　団体　第３位	
陸上競技 男子総合　第３位	
男子４×１００ｍリレー　優勝	
●●●●さん●●●●さん	●●●●さん ●●●●さん
３年男子 100ｍ	第２位 ●●●●さん
	第３位 ●●●●さん
共通男子 200ｍ	第２位 ●●●●さん
共通男子 110ｍＨ	第２位 ●●●●さん
２年男子 100ｍ	第３位 ●●●●さん
共通女子 100ｍＨ	第２位 ●●●●さん
共通女子 走幅跳	第２位 ●●●●さん
卓球　女子団体	**第３位**
女子シングルス	**優勝** ●●●●さん
バドミントン　女子団体	**第３位**
剣道　女子個人の部	準優勝　●●●●さん

※ 小山中野球部は、小山第三中学校との合同チームとして学体連、各種大会へ参加しています。

転載を禁止します
© 2024- Oyama Junior High School